

議会だより

やまと

# 山都

第43号

熊本県山都町議会

2022.2  
12月定例会

無病息災を願って

(矢部地区萱野のどんどや)



# 12月定例会

令和3年第4回定例会は、12月9日に開会し17日に閉会しました。条例4件、補正予算7件、事業契約締結、町道の廃止と認定及び権利の放棄6件を審議し、人権擁護委員の推薦の諮問について全会一致で承認しました。

令和3年度一般会計補正予算(第5号)は**11億3,800万円**を追加し、総額を**145億6,900万円**としました。主な内容は以下のとおりです。

## 総務費

### 山の都創造ファンド事業費

**586万円**

起業支援事業(上限150万円) 2件追加  
空家改修事業(上限75万円) 5件追加

### 新型コロナウイルス感染症対策交付金事業費

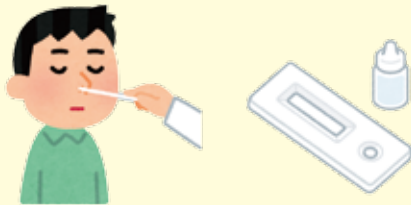
※山都町民PCR検査費用補助金は減額(2,876万円)し、下記の事業へ組み換えました。

#### ◎新規事業

- ・新型コロナウイルス抗原検査キット購入費
- ・食の宅配サービス施設設備補助金
- ・小中学校 学校保健特別対策事業補助金

#### ◎追加事業

- ・社会福祉施設等感染防止対策支援補助
- ・宿泊助成事業委託料
- ・蔓延防止対策営業時間短縮要請負担金



## 教育費

### 学校管理費

- ・矢部小学校渡り廊下屋根修繕料

**115万円**

- ・清和中学校外壁補修工事

**3,264万円**

### 通潤橋保存活用事業費

(財源は通潤橋未来への架け橋基金)

**582万円**

※通潤橋橋上を渡る事を前提として安全対策を講じるもの。監視カメラ、ゲート設置、通行箇所を表す白線ラインなどを施す。

## 衛生費

### 予防費

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費

**3,611万円**

※3回目接種へ向けての予算(国100%)

人件費、医薬材料費、バス運行委託料、健康管理システム委託料、会場運営委託料等

## 民生費

### 児童措置費

- ・私立保育園運営費負担(追加分)

**4,599万円**

## 商工費

### 商工振興費

- ・旧浜町会館立体駐車場解体工事費

**743万円**

### 観光施設費

- ・木質バイオマスボイラー導入調査業務委託料

**168万円**

※そよ風パーク大浴場再開へ向けた調査依頼

### 山の都づくり事業費

- ・道の駅整備工事費

**9,000万円**

※地質調査の結果、軟弱地盤がみられ補強工事が発生したもの(追加工事)

### ふるさと寄附金事業費

**3,519万円**

※寄附金の当初予算1億円に対し、今回5千万円の追加補正し、その経費としての予算。

## 土木費

### 木造仮設住宅移築事業

- ・住宅解体移築工事費 追加分

**2,178万円**

【一般会計補正予算Q&A】

**問(眞原)** コロナ対策交付金事業の、「山の都に泊まろうキャンペーン」のこれまでの実績は。

**答(山の都創造課長)**

実績は736万4千円であり、2、811人分を支出した。

**問(眞原)** 町有施設解体工事について、隣接のやまと文化の森や、周辺への説明は済んでいるのか。

**答(山の都創造課長)**

まだ行っていない。文化の森と周辺住宅への説明をしていく。

**問(中村)** 木質バイオマス調査費委託は、設置する事が前提か。木材の調達先など、詳細な説明を。

**答(山の都創造課長)**

そよ風パークの大浴場は休業しているが、管理者の再開への希望があること、木質バイオの熱利用効率是他と比較して数値が良いとされていることを期待し調査することとした。木材は町内からの調達で地域経済が循環すると考える。

**問(後藤)** 道の駅の追加工事について説明を。

**答(山の都創造課長)**

今回地質調査を行ったところ、軟弱地盤が確認された。地盤を強固にする

るために基礎杭を67本、大梁、小梁の施工が必要になった。

**問(西田)** ふるさと納税について、返礼品数が増えているのは結構な事だが、他の自治体では返礼品なしの項目を設けているところもある。町の考えは。

**答(山の都創造課長)**

寄付をされる方の中には、「返礼品なし」と書かれる方もいる。しかし、山都町の特産品を送ることで町のPRにもつながり、寄付の増加への貢献も果たしていると考えている。

**問(藤川)** 新型コロナワクチン関連のシステム改修の内容は。

**答(健康ほけん課長)**

令和4年6月より、ワクチン接種についてマイナンバー制度を活用できるようにするためのシステム改修。

**問(吉川)** コロナワクチンについて、接種しない人や出来ない人に対する偏見差別がないような啓発活動も必要だと思うが。

**答(総務課長)**

それぞれの考え方や事情があるので、今後も人権侵害等起こらないように取り組む。

視察研修報告【経済建設常任委員会】

有害獣の加工処理や利活用について

研修先：佐賀県武雄地域鳥獣加工処理センター  
参加者：経済建設常任委員会・農林振興課

【研修内容】

中山間地の共通課題である鳥獣被害対策を、武雄市の先進事例に学んだ。施設では捕獲数全頭を受け入れ、食肉加工と減容化(廃棄物を減量化すること)に区分している。減容化し特殊な肥料に加工するが、イノシシのみが対象。これらの先進的な取り組みを学びながら、本町ではシカも含めた処理と有効活用について推進していきたい。



補正予算第6号

補正予算第6号は、5億1千万円を追加し、総額を150億7,900万円としました。

《新型コロナウイルス感染症対策

臨時特別給付金事業費》

国会での議論の結果、子育て世帯への臨時給付金の予算措置が決まり、山都町でも10万円を一括給付することになりました。

- 子育て世帯臨時特別給付金

**1億5,500万円**

- 非課税世帯等臨時特別給付金

**3億4,760万円**

※児童手当を受給されている家庭は、令和3年内に振り込み完了。

非課税世帯や公務員世帯、高校生については申請が必要となり、振り込みは令和4年1月以降になる見込み。

詳しくは役場にお問い合わせ下さい。

# 全ての自治振興区で自主防災組織が立ち上がったが、組織の強化を今後どのように推し進めるか。

**答** 施設整備や耐震化などのハード対策とソフト面での訓練の充実、防災意識の普及啓発に努める。



はんがい まさとし 飯開 政俊 議員

**問** 本町における人・農地プランへの取り組み実態について説明を求める。

**答** (農林振興課長) 人・農地プランは、集落の農業の将来像といわれ、集落内の中心となる担い手や今後の農地利用のあり方を集落での話し合いによって作りあげられているもの。現在、対象集落は59集落のうち、34集落が見直しを終えており、令和3年度中には、全対象集落のプラン作成が完了できるように支援を継続していく。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響による商工事業への支援はどのように考えているか。

**答** (山の都創造課長) 商工会からの要望事項を踏まえ、追加された国のコロナ関連の補正予算を活用し、可能な限り感染防止対策や経済対策に取り組んでいきたい。

**問** 福祉事業の経営と現場の職員の実態をどのように把握しているか。

**答** (福祉課長) 介護や福祉に関わる人材の確保及び従業員高齢化については、どの事業所も苦慮されており、国の政策目標の一つとして、介護職員や保育士などの所得向上を目指す

**問** 活気ある高齢社会の実現に向けた町の取り組みは。

**答** (福祉課長) 高齢になっても気力・体力が続く範囲で生涯現役として活動することが可能で、働くこと以外にも地域活動に積極的に関わることを意識付けしていただくことが大切だ。社会活動、経済活動にも十分寄与することができると共に、長年



集落内での避難訓練 全世帯避難後に共同炊き出し

培ってきた技術と能力を次世代へ継承することもできる。

**問** 防災訓練はどのようになされ、防災意識の向上への取り組みは。

**答** (総務課長) 令和3年度は、33組織中4割から6割。また、防災講話の依頼も増え、防災意識

の向上は広がりを見せている。防災力の向上については、施設整備耐震化などハード対策とソフト面では訓練の充実が最大の課題である。防災意識の普及啓発、また、地域の実情に応じた訓練を実施しながら、地域防災力の向上を図りたい。

全質問の動画はこちらです



# 空き家は、町の大切な資源だと考える。利活用が進むためには、空家改修補助金の条件緩和が必要ではないか。

**答** 空き家改修補助金の増額や、契約者が決まる前に改修できる方策を検討している。



よしかわ 吉川 美加 議員

**問** 山都町の空き家バンクが開設されて約8年。これまで100件に及ぶ物件が利用されているそう。驚くべき数字だ。新しい住宅を建てる費用を考えると、すでに建っている家を再利用するのは有効なアイデアだが、町の住宅改修の補助金は、利用の契約が済まないといえぬ。契約前から改修できればもっと使える空き家が増えると思うが、要件の緩和はできないか。

**答** (山の都創造課長) 移住希望者が、空き家バンクを通して住居を探す時に内覧をするが、家財道具があつたり、風呂やトイレが改修されていないと意欲が削がれるケースがある。内覧時に改修ができていれば、有効な空き家となるだろう。来年度の補助要項を検討中であるので指摘の点も考慮したい。

**問** 空き家改修の補助金の使い勝手については、町内の業者を使うようにしていると聞くが、手に入りやすい材料等もあるだろう。どの程度の縛りがあるのか。

**答** (山の都創造課長) 基本的には町内業者を使っていた方向だが、改修の中心については検討しながら進めたい。

**問** 改修費の補助額が増額も期待したいが、家主から提供してもらった住宅を町が改修し、改修費用を家賃として回収していくサブリース(※)という方法があるというが、検討しているか。

**答** (山の都創造課長) サブリース方式は他の自治体でも実施しているようだ。事前に改修できる方法を考えたいと思っている。

**問** 空き店舗の利活用について提案したい。以前から、町の活性化については、町を回遊させたいと、造り物小屋の建設などを進めてきた。しかし、造り物見学プラスアルファの魅力が必要だ。途中に立ち寄り処があることが大切だと思っている。商店街の空き店舗を改修し、週末開店の利活用を進めてはどうか。町には玄人はだしの技術を持った方がいらっしゃる。ワークショップの企画等すれば滞在時間が延びると思うし、町の人材活用と、生きがい作りにもつながるアイデアだと思いが。

**答** (山の都創造課長) 町内の回遊への誘いについての課題は以前からあった。やまと文化の森でのイベント開催や、下市の「新裏町ソラ屋」、商店街に新たに若者が出店した飲食店などもある。今後商店街等とも相談しながら活性化を進めていきたい。

きれいに改修してあれば、すぐに住めるよね！



※文中における「サブリース」とは、町が家主から無償で借り受けた住宅を改修し、第三者に貸し出す方法で、改修費を家賃として回収していく方法。一定の契約期間で回収した後は家主に戻す。

全質問の動画はこちらです



# 町長が、補助金を受ける団体の長を兼任されることに問題はないか。

**答** 法的に可能か否かという問題も、住民の皆様からの疑惑を招かないかどうかについても十分検討し、慎重に事務を進めていく必要があると考える。



なかもら 中村 五彦 議員

**問** 有害鳥獣等の被害により、精神的にまいってしまい営農をやるめる動きに拍車をかけてはいないかと危惧している。今以上の有害鳥獣対策が必要だと思われるが、町の考えは。

**答** (農林振興課長)

農家の営農意欲が減退しないように、被害防止のための総合的な取り組みを行っている。電気柵等の設置に町の単独事業において2分の1の助成。今年度は、1,900万円を予算化。採択の要件を緩和して、申請者数1名で

の申請も可能にした。電気柵のみでなく、多様な資材を補助対象として拡充した。申請の数も増加しており、維持管理についても現場で対応いただいているものと思っている。防護と、住み分け、捕獲の方法など、引き続き総合的な対策に取り組んでいきたい。

**問** 補助金をもらっている団体の長を町長が兼任されているが、法律上の問題はないのか。

**答** (総務課長)

法人や任意団体の代表を務めている団体については、現在のところ、18団体を確認している。特に任意団体については、特色ある地域振興とか、交流人口の増による地域経済の活性化な



イノシシに荒らされた畔と水路

ど、様々な活動目的があり、また外部への発信力など様々な事情により町を代表する町長が団体の代表を務めており、いわゆる充て職的な役割をしているところもあると認識をしている。町長が代表を務める任意団体等への補助金等の交付が法的に可能か否かという問題も、住民の皆様からの疑惑を招かないか

どうかについても十分検討し、慎重に事務を進めていく必要があると考える。

**答** (町長)

本来であれば、補助金を受ける団体等々の会長就任は適当ではないと思う。取締役会、理事会等々の中でお願いをしな

ら進めていきたい。

**問** 業務の専門性が深まっているが、それに対する人材の採用、

(民間派遣等による)育成等は進んでいるか。

**答** (総務課長)

残念ながら応募がなく、定員に満たない職種もあり、欠員が生じた分については、一般事務職員が業務対応している。民間の会社には派遣し研修するということは、一般事務職員で採用された職員には、非常に壁が厚いのかなという気がする。

全質問の動画はこちらです



# 面積の広い山都町が抱える行政財産の総額は大きく、維持費も多額だが、適正化はどう進めるか。

**答** 公共建設物の長寿命化と財政負担の軽減を目指し、真に必要な施設と不要になっている施設を見極め、施設の総量縮減を進める。



まはら 眞原 まこと 誠 議員

**問** 第2次山都町総合計画において、4つの基本計画で、人・産業・環境・地域づくりのさまざまな取り組みが計画されている中、5番目の基本計画では、それらに矛盾しそうな財政支出の抑制を計画しているのはなぜか。

**答** (総務課長)

社会情勢の変化で多様化する住民ニーズに適切に対応するため、行政需要も多様化・高度化している。限られた職員と財源で多様な住民サービスに対応するには、最少の経費で

最大の効果を上げることが必要。適時適切に、真に必要な事業を推進する効果的な行財政運営を目指している。

**問** 山都町の有形固定資産の額は、他町村と比較すると大きい

が、施設の老朽化、社会構造や生活様式の変化で役目を果たすことができずに、有効に活用できていない資産も多く存在するのではないか。

**答** (総務課長)

閉校跡の建物や土地など、有効に活用し切れていない資産はある。固定資産を持つと、修繕・改修等の維持費が上がる。今後活用の目処が立たない資産については、積極的に処分していく。

**問** 宿泊施設や道の駅、キャンプ場、ジビエ工房のように、利用者

が町民に限らない、或いは、町外の方を主な利用者として運営する施設を、町が行政財産として所有するのはなぜか。

**答** (山の都創造課長)

それらの施設を利用した事業は、運営を地域の産業振興につなげ、住民の所得向上や生きがいを見出すことを目的としている。

**答** (農林振興課長)

ジビエ工房は、有害鳥獣捕獲後のイノシシ・シカの利用価値を高めるため、それらの肉を適正に処理し、流通を可能にするための施設として建設された。有害鳥獣狩猟者の意欲の

向上、鳥獣被害対策の効果の向上、また、イノシシ・シカの肉を新たな地域資源として有効活用するのが目的。

**問** 町外の利用者に向けて営業する事業は、決算報告では行政が意図する産業振興等の目的を果たせているか確認が取れない。

振興させようとする産業の担い手との意

見交換等は行なっているか。

**答** (山の都創造課長)

これまで指定管理者とはそうした場を設けてきたが、出荷納入事業者等、町の事業目的の対象となる方々とは行なっていない。行政財産の効果的運用のためにも、それらを徹底したい。



廃校となっている中島東部小学校

全質問の動画はこちらです



# 来庁者を笑顔で迎えることは大切だと思うが、 接遇の研修等を行っているのか。

**答** 外部団体主催の研修に参加している。また、今年度は教育係も配置し、住民サービスの向上に努めていく。



議員 典秀 ひでのり 田 矢 仁 田

**問** 職員が来庁者に挨拶をしないという声をよく聞く。笑顔で挨拶をすることは、来庁者はもとより職員同士のコミュニケーションや庁舎内の雰囲気向上のためにも必要だと思うが、接遇等の研修の取り組みは行っているか。

**答** (総務課長) 外部団体主催の初任者向けの接遇研修や中堅者向けのサービス向上研修に参加している。また、今年度から実務を通じて指導できるように教育係を配置した。より丁寧かつ的確な対応、サービスを提供することで、住民の信頼

と期待に込めていく。  
**問** 新道の駅の敷地内に八朔祭の造り物を設置する事や、町内と観光地の宣伝とこだわりのある道の駅にする必要があると思うが、指定管理者の選定方法はどうか。

**答** (山の都創造課長) 目立つ仕掛けは今後検討する。活用やレイアウト等は指定管理者で自由に設定運営していただく予定。指定管理者は、法人、民間を問わず、広く公募し、募集要項は、町のホームページ・広報紙等で周知する。

**問** 岩尾城の復元と五老ヶ滝、鶉の子滝、竿渡滝等の自然が織りなす造形美は、安全策を施す小規模な整備で観光資源となると思うか。

**答** (生涯学習課長) 岩尾城は、二の丸、三の丸の土地面積が96,000㎡。どの範囲をどのように復元するのか検討する必要がある。また、町単独予算ではなく、補助事業を活用しなければならぬため、所管する他の事業と優先順位を諮りながら検討する。

**問** 鳥獣被害対策として、ハンター育成と捕獲した鳥獣の処理方法をどう考えているのか。

**答** (農林振興課長) 狩猟免許新規取得者への補助金を交付している。今後、捕獲従事者の技術継承の場を設けたり、安全かつ効果的な活動ができるよう仕組みの検討を図る必要がある。



五老ヶ滝の全景



滝つぼへの遊歩道は未だに通行止

**問** 有機農業をテーマとしてSDGs未大都市に選定された。有機農業推進の具体的な計画は、

**答** (農林振興課長) 有機農業の現状を把握し、意見を聞きながら有機農業推進計画を策定中。また、有機農業限定ではなく、慣行農業、林業、他産業に繋がり町づくりに拡がるよう意識し、生産者の意向が反映された施策になるよう取り組む。

的な計画案は。

**答** (企画政策課長) 学校給食に有機米・野菜が利用されている。

全質問の動画はこちらです





# 新体育館は、なるべくコンパクトなものとし、維持管理費を抑えるため、冷暖房設備は考え直すべきではないか。

**答** 全国規模の大会は冷暖房設備が必要であり、避難所として利用する場合も設置しておいた方が良く考える。



にしだ ゆみこ 議員  
西田 由未子

**問** 新体育館は、人口減を考慮し町民の健康増進を主目的としたできるだけコンパクトなものとし、建設後の維持管理費を抑えるため冷暖房設備は考え直すべきではないか。

**答** (生涯学習課長) 全国規模の大会は冷暖房設備が必要となり、避難所とした時にも設置しておいた方が良い。後の維持管理については考えていく。

**問** 指定緊急避難所6カ所のうち、100人以上入れる避難所については段ボールベットや仕切り、避難所開設のた

めの道具等を備蓄しておき、それを使って住民主体の避難訓練ができるようにしていくべきではないか。

**答** (総務課長)

現在の備蓄は旧御岳小、千寿苑、各支所にあり、衛生面、管理面から全ての避難所には置けず、災害時には各場所から分散分断すると、劣化状況等の管理が行き届かない心配もある。備蓄品の配送については、ヤマト運輸と災害時の配送支援等について協定を結ぶ予定。

**問** 地震対策として、家具家電等の転倒防止、ガラスの飛散防止フィルム等の防災グッズ購入に対し町からの補助をしてもらえないか。

**答** (総務課長)

家庭における防災グッズ購入については、自助の範囲とご理解

いただきたい。住宅の耐震診断、耐震のための改修については、補助制度があるので建設課に相談を。

**問** 熊本地震の時は2,000人ほどの避難があった。新体育館は、避難所としての機能も備えるそうだが、災害想定や受け入れ可能人数、高齢者、女性、妊産婦、障がい者、ペット同伴についての配慮等はどうか。

**答** (総務課長)

200名想定。要配慮者については、千寿苑を予定。安全面、衛生面からペット同伴でできる避難所はないので避難所の駐車場やゲージ内でお願しいたい。今後有効な場所等について考えていきたい。

**問** 建設予定費と財源はどうか。

**答** (生涯学習課長)

本体及び外構含め

約22億円。財源は社会資本整備総合交付金事業の防災安全交付金と起債の予定。

**問** 冷暖房設備は、後の維持管理費にどの町も苦慮されていると聞く。新体育館アリーナだけでも年間500万円程度の電気代がかかるそうだが、全館だともっとかかることになる。地中熱換気システムだ

**答** (生涯学習課長)

地中熱換気システムは外気温に左右され又送風もあるため、バドミントン競技には影響が懸念される。体育館用の冷暖房設備にはその心配はない。避難所としての活用もあるため、冷暖房設備を備えたい。



新体育館完成イメージ



全質問の動画はこちらです

## 山都町下市PFI住宅整備事業【地域優良賃貸住宅(子育て支援タイプ)】

### ～山都町下市PFI住宅整備事業について～

「山都町下市PFI住宅整備事業」とは、第2次山都町総合実施計画の「移住・定住の促進(住環境整備)」において、今後の長期的な山都町への居住と、まちづくりの担い手となる若者・子育て世代の人口増加及び定住化を図るため、下市字前田48番地他2筆2,233.95㎡に整備される「若者向け定住促進住宅」です。

### ※概要 事業費 27,498万円

- ・ 契約会社:積水ハウス(株)九州南シャームゾン営業所
- ・ 戸数12戸(2LDK)、駐車場(24台)、駐輪場(12台)等



### ～PFIとは～

※Private Finance Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)の略。

公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービス等の提供をゆだねる手法をいう。

### 住宅完成イメージ図



(南西側より)



(外観パース南側より)

## 条例の制定と改正・町道の廃止・認定その他

### 【グラウンド条例の一部改正】

清和地区の朝日西部グラウンドについて、グラウンドとしての使用が長年ないことから、他の利用を図るためグラウンド条例から削除するもの。

### 【短期滞在施設条例の一部改正】

矢部地区の旧見晴山教職員住宅（1棟6戸）を新たに短期滞在施設として運用開始するもの。  
※町内の短期滞在施設は全部で9棟16戸になる。

### 【国民健康保険条例の一部改正】

令和4年1月1日より出産育児一時金を改正

4004,000円  
←  
4008,000円



### 【過疎地域の持続的発展支援に係る固定資産税の特例に関する条例の制定】

過疎地域の振興を支援するために、一定の条件のもと、固定資産税の課税免除ができるもの。

### 【町道の廃止と認定】

#### （廃止線）

矢部地区 → 仲町長野線、長原後谷線  
※運動公園周辺整備に伴う再編のために廃止するもの

#### （認定線）

矢部地区 → 仲町千滝線、運動公園線、千滝長野線  
清和地区 → 元仁田尾支線

### 【事業契約の締結】

事業名	山都町下市PFI住宅整備事業
契約金額	2億7,498万円
契約の相手方	積水ハウス(株) 九州南シャームゾン営業所
業者選定方法	公開プロポーザル方式

※10ページに詳細掲載しましたのでご覧ください。

### 【発議 第3号】

提出者 矢仁田秀典議員 賛成者 眞原誠議員

「主要地方道矢部阿蘇公園線建設促進特別委員会の設置」

主要地方道矢部阿蘇公園線の早期整備の実現に向け、山都町議会が一丸となり関係機関と協力の下、国及び県に対して要望活動を展開していくことを目的として設置するもの。

### 【諮問1号】

◎人権擁護委員候補者の推薦について意見を求めるもの。  
下田俊朗さん(尾野尻)が再任されました。

### 【権利の放棄】

水道料金の債権につき権利を放棄するもの

計6件 合計金額 61,896円

※契約者の死亡や転居先不明など、追跡が不可能になったこと、民法の一部を改正する法律による改正前の民法第173条第1号に規定する2年間の消滅時効期間が既に経過したことにより、債権を放棄することとした。



廃止された朝日西部グラウンド

改選により議長・副議長・委員会構成が変わりました。

議会運営委員会

- 委員長 工藤 文範
- 副委員長 後藤 壽廣
- 委員 眞原 誠
- 委員 矢仁田 秀典
- 委員 飯開 政俊
- 委員 吉川 美加



藤澤和生議長



藤原秀幸副議長

(所管)

議会、総務課、企画政策課、税務住民課、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び教育委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



総務常任委員会

(所管)

健康ほけん課、福祉課、環境水道課の所管するうち環境保全、環境衛生及び衛生施設に関する事項並びにそよう病院の所管に関する事項



厚生常任委員会

(所管)

農林振興課、山の都創造課、建設課、地籍調査課、環境水道課の水道事業に関する事項並びに国民宿舎に関する事項



経済建設常任委員会

次の定例会は、3月の予定です。

※詳しい日程等については、議事事務局までお問い合わせください。(☎72-1289)  
 ※感染症拡大防止のため、傍聴席数が変更になる可能性があります。予めご了承ください。



本誌で掲載していない12月定例会の議案と議決結果は、山都町HPに掲載しております。



編集後記

議会構成が新たにになり広報委員会も二班体制となりました。前期一年を担う新メンバーでの編集がスタートしました。誰にでもわかりやすく、親しまれる議会だよりにしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読ください。ご意見、ご感想をお待ちしています。

山都町議事事務局  
 ☎0967-721289

(72)1289

発行責任者

議長 藤澤 和生

議会広報委員会

委員長 藤川 多美  
 副委員長 坂本 幸誠  
 委員 東 浩昭  
 委員 飯開 五郎  
 委員 吉川 美加

